

第 22 回／2024(令和 6)年度 通常総会

“全国ビオトープアンの出会い”

◇ 議 案 書 ◇

議 題

- | | |
|---------|-------------|
| 第 1 号議案 | 2023 年度事業報告 |
| 第 2 号議案 | 2023 年度決算報告 |
| 第 3 号議案 | 2024 年度事業計画 |
| 第 4 号議案 | 2024 年度収支予算 |
-

2024 年 6 月 14 日(金)

東北大学 青葉山新キャンパス 環境科学研究科 本館 2 階 大講義室
(宮城県仙台市青葉区荒巻青葉 468-1)



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

第1号議案 2023(令和5)年度事業報告

■総括

NPO 法人日本ビオトープ協会は法人格取得から20年(平成5年の協会設立から30年)を迎え、活動の方向性も地区を中心とした、地域の自然環境に配慮したビオトープの保全・創出活動を展開してまいりました。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら各地区活動を行いました。総会後の公開フォーラム「ビオトープフォーラム in 静岡 2023」は予定通り開催、「ビオトープアドバイザー認定試験研修会・豊田」は2023年10月に開催いたしました。

SDGsの社会・経済を支えるネイチャーポジティブにおいて、ビオトープの重要性は益々増えていると実感しております。これからも、環境・社会に貢献する事業をさまざまな角度から展開し、また各地域皆様のご要望に応えた研修会開催等、一層のビオトープ事業の啓蒙と技術者養成をはかる所存です。

具体的な活動を下記ご報告申し上げます。

1. **総会** 「第21回通常総会」

日時:2023年6月23日(金) 11:00~11:30

場所:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5階502会議室(静岡市)

協会代表顧問・横浜国立大学学長の鈴木邦雄先生、協会顧問の立川周二先生を来賓にお迎えし、司会進行は鈴木元弘副会長、議長は久郷慎治副会長にて行い、櫻井淳会長の代理、又新会長として久郷会長より挨拶があった。担当理事・事務局から、2022年度の事業報告・決算報告承認後、2023年度事業計画・収支予算案を説明した。



総会の様子

2. **フォーラム** (総会後の公開講座)

設立30周年記念「ビオトープフォーラム in 静岡 2023」

ー自然との共生を目指して…そして豊かな未来のためにー

日時:2023年6月23日(金)13:00~18:00

場所:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室

主催:NPO 法人日本ビオトープ協会

後援:環境省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、静岡県、静岡市、自然環境復元学会、公益社団法人 静岡県造園緑化協会(順不同)

参加者:103名

(プログラム)

司会 理事・関東地区委員長 砂押一成

開会挨拶 副会長 鈴木元弘

新会長挨拶 久郷慎治

祝辞 静岡県くらし・環境部参事 伊藤晃氏

静岡市都市局都市計画部参与兼緑地政策課長 塩澤友宏氏

自然環境復元学会長、東北学院大学教授 平吹喜彦氏

フォーラムの様子



【第1部】

功労者表彰式 鈴木邦雄氏、西川勝氏、杉山美智子氏

【第2部】

第15回ビオトープ顕彰 受賞ビオトープ 表彰式

審査報告 野澤日出夫顕彰事務局長

・学校ビオトープ大賞:「どじょりんのビオトープ」(中部地区、愛知県)

・審査委員長賞:「もりバイオ」(近畿地区、滋賀県)

・CSR特別賞・地域貢献賞:「ビオトープ富士」(静岡地区、静岡県)

・環境活動推進賞:「大榎町郷土財活用湧水エリア ビオトープ」(北海道・東北地区、岩手県)

・協会会長賞(プロアクティブ活動功労賞):「射水市青井谷西谷地区周辺里山ビオトープ」(北陸・信越地区、富山県)

・CSR特別賞:「アイシン辰栄 幸田工場 ビオトープ」(中部地区、愛知県)



事例発表「どじょりんのビオトープ」「ビオトープ富士」

【第3部】

基調講演「ビオトープが未来を拓く-30年のビオトープ活動から-」

協会代表顧問、元横浜国立大学学長 鈴木邦雄氏

特別講演「SDGs・生態圏におけるビオトープの重要性」

協会特任顧問、常葉大学名誉教授、ふじさんネットワーク副会長 山田辰美氏

特別講演「在来種ニホンミツバチとその養蜂を支える自然環境-里山地域の事例から-」

日本在来種みつばちの会理事、いであ株式会社 国土環境研究所 生態保全部門

自然環境保全部 研究員 藤原愛弓氏

閉会の辞 副会長 野澤日出夫



フォーラム・講演の様子

設立 30 周年を記念する本年度のフォーラムのテーマは、「自然との共生を目指して…そして豊かな未来のために」といたしました。静岡県男女共同参画センター「あざれあ」を会場に、予定通り無事に、充実した内容で開催することができました。

関係官庁他のご後援と講師の先生、協会員の方々をはじめ、皆様にご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます、今後ともご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

◇フォーラム報告書は協会 WEB 活動実績ページ等に UP(下記)

<https://www.biotope.gr.jp/wp-content/uploads/2023fo-houkoku.pdf>

◇第 15 回ビオトープ顕彰 受賞ビオトープ、報告書は協会 WEB 顕彰ページ等に UP(下記)

<https://www.biotope.gr.jp/wp-content/uploads/No15kensyo-houkoku.pdf>

又は協会誌「ビオトープ No.52」P.17-19 掲載

◇顕彰事例発表 2 件、基調・特別講演の映像 2 件(藤原氏映像除く)を YouTube で公開

YouTube→「日本ビオトープ協会」検索→チャンネル登録にて各映像を視聴



◇2 日目エクスカージョン(現地見学会)

日時:2023 年 6 月 24 日(土)9:30~12:00

場所:あさはた緑地(静岡市葵区)

参加者:25 名



フォーラム会場内では、協会本部、各地区活動、SDGs についてのパネル展示も開催いたしました

3. 常任委員会の活動報告

A) 総務委員会

協会員である事が価値感を感じる活動を新規検討する。

法人会員・個人会員ともにそれぞれが価値観を感じるものを具体的に実施する方向で進めて行く。

元気な事例から学び行動計画を立案し実行していく。それに向けて全会員で挑戦していく。

- ① ビオトープだよりの発行のアシスト
- ② 会員からの相談事項への対応
- ③ 出前授業の開催
- ④ 「ビオトープってなあに？」冊子、「ビオトープづくりの心と技」本の活用
- ⑤ 顕彰の募集のアシスト
- ⑥ 総務委員会の情報交換とビオトープ協会の改善
- ⑦ 年 2 回総務委員会の開催(今年度は 1 回のみ)

第 1 回総務委員会

日時:2023 年 8 月 7 日(月)10:55~12:25 Web 会議(Zoom)

内容:9 月主席 BA 研修会、ビオトープ顕彰、各地区・委員会活動状況の確認・検討

B) 情報委員会

- ① 機関誌「ビオトープ No.52」2023 年 8 月末発行
機関誌「ビオトープ No.53」2024 年 1 月末発行
- ② 第 1 回情報委員会

日時:2024年2月26日(月)16:15~16:55
場所:連合会館405会議室
内容:協会誌54・55号企画会議 正副会長会議メンバー協力



C) 研修委員会

- ① 「事例で学ぶ ビオトープづくりの心と技—人と自然がともに生きる場所」販売促進
- ② 認定研修会等への協力
・BA認定試験研修会・豊田会場開催
- ③ 現地研修会の実施

D) 技術委員会

- ① 技術メモの発信
・BA用はできなかったが、9月24日の理事会で話題提供「根回し・環状剥皮、根系誘導耐圧基盤材」を行なった
- ② 各地区フォローアップ
・静岡地区興津中町のポット苗生育調査(新5ヶ年計画)2024年2月28日調査、報告書作成
- ③ 対外的提案
・2024年2月16日の自然環境復元学会で講演・パネラーを行った

E) 顕彰委員会

- ① 第15回顕彰委員会(2022年度募集)
日時:2023年4月13日(木)11:00~13:00
場所:連合会館2階205会議室
- ② 第16回(2023年度)ビオトープ顕彰募集は例年通り推進
・募集締め切り:2024年3月12日
・募集案内は9月に会員・BAメーリングリストへ、協会WEBにUP
2024年4月16日顕彰委員会開催 連合会館



■ビオトープアドバイザー資格関連研修会

【ビオトープアドバイザー認定試験研修会】

- ◎第41回ビオトープアドバイザー認定試験研修会 in 豊田、更新研修会
日時:2023年10月26日(木)・27日(金)
会場:豊田商工会議所会館 見学:トヨタ自動車堤工場「びおと一ふ堤」
受講者:新規16名、更新54名

【ビオトープアドバイザー更新】

- ・2023年度更新対象者80名、うち豊田更新対象74名 最終更新計57名(豊田更新54名)

【主席ビオトープアドバイザー 新規・更新】

- ◎第11回主席BA認定研修会
日時:2023年9月14日(木)11:00~13:00 審査:鈴木邦雄先生
新規3名、更新1名 ビオトープ指導の得意分野を説明・発表
- ◎第12回主席BA更新 ※更新者は今年度書類・レポートでの審査となった。
更新対象者7名うち6名(1名は上記で発表) 書類審査:鈴木邦雄先生
現在、38名の主席BAが全国で活躍中

4. 地区委員会の活性化

ビオトープに優秀な技術・ノウハウを有している法人会員、地区で活動している個人会員、ビオトープアドバイザーが力を結集し、地域性の強いビオトープの復元・創出して社会に貢献していくために、地区委員会事業を第一義に活動してきた。全国8地区の地区委員会はその土地に応じた様々な事業を実施し、ビオトープの理念、啓蒙の発展に貢献した。

■地区の活動報告:研修会・視察会、共催事業の実施

<北海道・東北地区>

- 第40回全国都市緑化フェア関連出展等
 - メイン会場青葉山追廻地区「仙臺緑彩館」ミズアオイパネル展示等(5/1～5/7)
 - 東部地区会場のせんだい農業園芸センターパネル展示(5/27～6/18)
 - 3.11メモリアル交流会ミズアオイ講演会(平塚顧問)と埋土種探し(6/18)
- 大槌町「ミズアオイの池をみんなで守る会」活動支援
 - 湧水エリア発芽促進かく乱作業(4/22)
 - エリア内高木植栽作業(6/15～6/17 イオン財団助成)
 - ミズアオイ町民観察会と座学・試食会(8/20)
 - 次年度エコアップ計画・助成金申請獲得
 - 釜石根浜地区でのビオトープ計画支援活動(写真)
- いわき市三和町「ホタル水路再生計画」の支援
 - 第1回ほたるのさんぽみち in みわ開催(三和町商工会主催:7/1)
 - 三和小学校児童によるカワニナの繁殖
 - ホタル水路・ハナショウブ田の維持管理
- 寒河江慈恩寺「ホタルの里プロジェクト」の支援
 - マコモダケの苗の確保(4/15)と親子田植え体験会(5/20)
 - ビオトープゾーンの生き物・植物観察会(6/10)・親子ホタル観賞会(7/7)
 - マコモダケ親子収穫体験会/試食会・親子座学学習会
- 尾花沢市「徳良湖」環境調査・清掃活動(4/30)
- 大石田町「町民の森」環境調査・清掃活動(5/1)
- ビオトープフォーラム 2024in 仙台に向けて
 - 地区委員会開催(10/12) ・会場下見等(10/31) ・拡大地区委員会開催(1/17,18)
- 会員の拡大 2023年度個人会員1名入会(岩手県)



緑化仙台フェア 出展状況



大槌町 木本植物の植栽



いわき市 第1回ほたるのさんぽみち in みわ



寒河江慈恩寺
マコモダケ田植え体験会

<関東地区>

- ビオトープフォーラム in 静岡 2023 運営協力
- 自治会・学校ビオトーププロジェクト継続支援実施
 - 前渡小 学校観察園ほたるの森 ホタル放流・観賞会(ひたちなか市)
 - 村松小ビオトープ ホタル放流・観賞会(東海村)
 - 常葉台ビオトープ ホタル観賞会 生物調査 3回(ひたちなか市)
 - 高野宿ビオトープ ホタル放流・観賞会 生物調査 3回
- 地域ホタル飼育活動の継続実施
- 目白が丘保育園ビオトープ支援
- 赤羽幼稚園 園庭ビオトープ学習会実施(東京都港区)
- Facebook等SNSを使った地区情報発信の継続での情報発信
※Facebook:「日本ビオトープ協会 関東支部」
- 他団体との情報連携強化
- 会員拡充 2023年度個人会員1名(神奈川県)、法人会員1社入会(茨城県)



学習会の様子



生物調査

<北陸・信越地区>

- 県内ビオトープ関連団体との交流及情報連携
 - ビオトープ管理士会富山県支部との合同研修会
 - 富山県ビオトープ協同組合との先進地視察研修
 - 射水ビオトープ協会との勉強会
- 他団体の勉強会へ講師として参加
 - 富山県神道青年会奉仕グループ主催「海・山への感謝」第2弾「山林」に関する勉強会 受講者はズームにて参加
2024年3月22日 19:00～20:00 講師 久郷慎治会長・地区長
- 会員の拡大 2023年度個人会員1名入会(富山県)



富山県ビオトープ協同組合
他との合同研修会



勉強会講師

- ・隣県の石川県・新潟県への働きかけ
- ・BA を介した会員の勧誘

< 静岡地区 >

1. 「ビオトープフォーラム in 静岡 2023」開催
 - ・フォーラム 2023.6.23、見学会 2023.6.24
2. 麻機遊水地保全活用推進協議会の参加
 - ・麻機遊水地クリーン作戦参加、自然観察会協力 2023.5.20
3. 麻機湿原を保全する会 活動支援
 - ・サクラタデ観察会 2023.10.21 実施
 - ・希少種保全エリア周辺環境整備 2024.3.2 実施
4. 「ホテル水路づくり研修会」への協力 2023.5.22、7.24、10.16、11.20、2.5、3.4
5. 中町浄水場里山再生 指導及び協力 2024.2.28 実施
6. 学校、福祉、企業ビオトープ維持管理支援
 - ・小学校ビオトープ再整備 支援 2023.6 月、11 月実施
 - ・児童福祉施設ビオトープ維持管理支援 2023.7 月実施



フォーラム 2 日目見学会



サクラタデ観察会の様子

< 中部地区 >

1. 中部ブロック会議の開催
 - SDGs AICHI EXPO 2023 出展、BA 認定・更新研修会の開催について、他
 - 1 回目:2023 年 6 月 18 日 2 回目:9 月 20 日
2. BA 認定・更新研修会の開催
 - 日付 2023 年 10 月 26 日(木)27 日(金)
 - 場所 豊田商工会議所会館
 - 受講者:更新 54 名 新規 16 名
3. SDGs AICHI EXPO 2023 in Aichi Sky Expo 出展
 - 日時 2023 年 10 月 5 日(木)~7 日(土) 10:00~17:00
 - 会場 愛知国際展示場(Aichi Sky Expo)展示ホール A
 - 出展 116 団体 来場者 約 14,000 人
4. 協会本『ビオトープづくりの心と技』の販売活動
5. 会員募集



BA 認定試験研修会・更新研修会の様子



SDGs AICHI EXPO 2023 出展の様子

< 近畿地区 >

1. 盤石跡地調査 第 2 回 8 月調査
2. 蒲生の湯 小さなビオトープ池調査 第1回 10 月
3. 竜王町貯水池 動物、植物調査 11 月
4. 希望ヶ丘文化公園水辺観察会・調査 5 月~翌 3 月 (観察会 1 回・調査 1 回)
5. 琵琶湖岸ヨシ植栽とハマゴウ保全活動への協力 (6 月・11 月)
6. 会員拡大



希少種ハマゴウ保全活動



研究者による説明会

< 中・四国地区 >

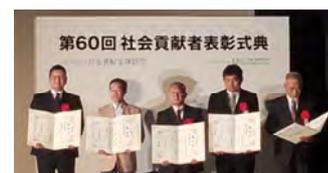
1. 古鷹山ビオトープ観察会
 - ◇切串小学校 古鷹山ビオトープ観察会の報告
 - ・日時:2023年4月28日(水)9:30~12:00
 - ・対象:切串小学校全校生徒(47名)+引率の先生(6名)
 - ・講師:山本信男、清田康博
 - ・内容:①危険な生き物(マダニ、スズメバチ、マムシ等)、かぶれる植物について
 - ②虫の取り方や、ビオトープの生き物について説明
 - ③ビオトープの生き物採集と観察 2班に分かれてビオトープ池周辺の生き物や植物を観察
- ※古鷹山の夏のビオトープ観察会(7月8日(土))は、大雨のため延期になりました。



生き物採集と観察

◇秋の古鷹山ビオトープ観察会の報告

- ・日時:2023年9月30日(土)10:00~12:00
- ・内容:生き物採集・観察、火起こし体験、焼き芋づくり、等
- ・講師:梶岡幹生、清田康博、越智一郎、山本信男、望月将実、中川ゆかり
- ・参加者:37名



表彰式典

2. 表彰受賞の報告

株式会社カジオカL.A(梶岡幹生会長)を中心とした協会中・四国地区委員がメンバーの、古鷹山ビオトープ・フォローアップ実行委員会(広島県)の活動が高く評価され、公益財団法人社会貢献財団第60回社会活動貢献者として、11月27日東京帝国ホテルで開催された表彰式典で表彰受賞された。

<九州地区>

1. 地域自治区・学校ビオトープの状況観察実施
2. 海岸浸食状況に歯止めをかける取組の確認
 - ・調査継続実施・ウミガメ生態観察・送り出し観察実施
3. 蛍の里環境清掃
4. 出で野山ほたる里水路(小林市)維持管理工法勉強会⇒計画のみ
5. 南九州大学環境学部との意見交換会「知る・学ぶ・触れる」興味を持つ取り組みを図る⇒計画のみ
6. 会員拡充の継続呼びかけ



作業風景

CSR 推進企業とのコラボレート(協働)

ビオトープの創出・復元の知識、技術のある会員は CSR 活動をして緑の再生、環境づくりに参画して社会貢献しようとする企業をバックアップ

「ホテルがすむ街づくり展 2023」開催(コロナ以降中止していたが久しぶりに開催)



ホテル水路づくり研修会

神奈川県東京農業大学伊勢原農場にて、市民や学生が参加し、協会員・ビオトープアドバイザー(BA)の研修も行う「ホテル水路づくり」を開催中。

なお、2013年度は大和ハウス工業株式会社・従業員の皆様より、当協会の活動にご賛同、ご寄付をいただき、また2014年度から東京農業大学教育後援会様より費用のご協力もいただいている。

「ホテル水路づくり研修会」

場所:東京農業大学・伊勢原農場〒259-1103 神奈川県伊勢原市三ノ宮前畑 1499-1

計画:市民や学生が参加し、協会員・BA の研修会も行う「ホテル水路づくり」を開催。地域の環境学習・交流の場として、ビオトープを通して身近な自然とのふれあいの中で生命の重みを実感できる場所になることを目指してきた。

2023年度

第73回 4月24日(月)中止

第74回 5月22日(月)草刈り、河川整備等

第75回 7月24日(月)草刈り、河川整備、講義等

第76回 10月16日(月)河川整備、剪定作業等

第77回 11月20日(月)河川整備等

第78回 2024年2月5日(月)剪定、河川整備等

第79回 3月4日(月)見学・調査、講義等

2023年度で10年という区切りを迎え、伊勢原・ホテル水路づくり研修会を2024年3月で終了することとなりました。ご協力いただきました会員、関係者の皆様には心よりお礼申し上げます。



学校支援

「大井町自然観察再生園」一都会における自然環境の復元一

学校法人小野学園(東京都品川区)が、学校内にホテル自生研究室を設置、また学園の管理する敷地に学校ビオトープを作り、2011年「第22回緑の環境デザイン賞」の「国土交通大臣賞」を受賞。協会では全面的に協力、継続してバックアップを行っている。

自然環境復元学会への後援・協力

・自然環境復元学会・日本ビオトープ協会 合同シンポジウム

「都市で創るいきものあふれる世界—今、私たちが目指すもの—」

日時:2024年2月16日(金)13:00~15:00

会場:日本大学理工学部 駿河台キャンパス 1号館 144教室/オンライン開催

参加費:無料(申込不要)※合同シンポジウムのみであれば無料

内容:○平吹喜彦学会長の挨拶、久郷慎治ビオ協会長の挨拶○特別講演:直木哲ビオ協技術委員長、野澤日出夫ビオ協相談役、吉野知明学会理事、田島洋輔学会理事○パネルディスカッション



・「自然環境復元学会 第24回全国大会(研究発表会)」

日時:2024年2月16日(金)9:00~18:00

会場:日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 144教室/オンライン開催

主催:自然環境復元学会 後援:特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会(賛助会員)

内容:若手発表、一般発表 ※間に上記シンポジウムをはさむ

6. 特別委員会(顕彰委員会)

2023年度に募集したビオトープ顕彰の審査を2024年4月に実施

第16回目となる優秀なビオトープの顕彰は多くの応募をいただき、顕彰委員会委員長・協会代表顧問の鈴木邦雄先生はじめ、各委員の真剣な審査の結果、受賞ビオトープが決定した。

「第16回顕彰委員会」2024年4月16日(火) 場所:連合会館405会議室(東京都千代田区)

審査結果

- ・ビオトープ大賞:「あさはた緑地ビオトープ」(静岡地区、静岡県)
- ・審査委員長賞:「仙台・みどりの杜ビオトープ」(北海道・東北地区、宮城県)
- ・技術特別賞:「調整池のビオトープ」(中部地区、愛知県)
- ・学校ビオトープ特別賞:「老蘇小学校ビオトープ」(近畿地区、滋賀県)
- ・環境教育賞:「広島県立湯来南高等学校ビオトープ」(中・四国地区、広島県)

○鈴木邦雄顕彰委員長より全体の講評

今回も各支部から優れたビオトープが推薦されました。いずれもが、多様なステークホルダーの協力によるビオトープの造成に始まり、維持管理、環境教育、地域貢献など優れた取り組みであり、高く評価できました。今後も各団体が継続的にビオトープの普及啓蒙に貢献することを期待しています。

〜〜

2024年度には協会設立31年、NPO法人として21年目を迎えます。活動は軌道に乗りつつありますが、各地区において、ビオトープを通じてみどりの環境づくりに貢献する協会として認知されるには、まだ多くの課題があります。

当協会にはビオトープ事業関連に優秀な技術・ノウハウを有している多くの法人会員、地域活動に活発に取り組んでおられる個人会員が参加されておられます。これらの力を結集し課題の解決に努力することが肝要であり、会員各位の格段のご協力をお願い申し上げます。

〜〜

■2023年度諸会議

- ・顕彰委員会(第15回) 4月13日(木)11:00~13:00 連合会館205会議室(東京都千代田区)
- ・第1回理事会 4月13日(木)13:30~15:30 場所は同上
- ・通常総会(第21回) 6月23日(金)11:00~11:30 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」502
- ・第1回総務委員会【WEB会議・ズーム】 8月7日(月)10:55~12:25
- ・第2回理事会 9月14日(木)13:55~15:20 連合会館205会議室
- ・臨時役員会議 11月28日(火)13:30~16:00 小岩井農牧株式会社本社会議室(東京丸の内)
- ・臨時役員会議 12月23日(土)10:00~12:00 本部事務局
- ・正副総務役員会議 2月26日(月)14:00~16:10 連合会館405会議室
- ・情報委員会 2月26日(月)16:15~16:45 場所は同上

第2号報告 2023年度決算報告

(予算実績対比)

2023年度 収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日 特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

単位 円

科目	2023年度 予算額	2023年度 決算額	増減	備考
I 経常収入の部				
1 会費収入	5,780,000	5,685,000	-95,000	個人・法人・賛助会員計
2 事業収入				
① ビオトープ技術者養成事業	750,000	1,072,500	322,500	BA 認定試験研修会・更新、主席 BA 認定更新、他
② 事例集書籍販売	40,000	35,600	-4,400	書籍「ビオトープづくりの心と技」
3 助成金 ※				
① ホタル水路づくり研修会※1	700,000	550,443	-149,557	※1 農大教育後援会より助成金(研修会経費分)他に、講師
② ビオトープフォーラム※2	393,900	393,900	0	交通費等、農大より直接経費振込みもあり
4 寄付金	200,000	249,170	49,170	※2 花博記念協会助成金よりフォーラム経費
5 前期繰越金	402,227	402,227		
6 受託事業収益		29,700	29,700	ビオトープ維持管理改訂版等冊子
7 原価戻入		12,000	12,000	
8 雑収入		12,627	12,627	
経常収入合計	8,266,127	8,443,167	177,040	
II 支出の部				
1 事業費				
① ビオトープ技術者養成事業	500,000	614,589	-114,589	
② ビオトープ啓蒙事業				
資料作成(協会誌、パンフ等)	500,000	426,182	73,818	協会誌
WEB サイト	34,760	34,760	0	サーバー利用料、メールリスト用サーバー利用料
常設委員会	200,000	129,663	70,337	総務・情報・研修・技術、他
特別委員会・その他委員会	200,000	98,469	101,531	顕彰、他
シンポジウム・セミナー	650,000	737,684	-87,684	ビオトープフォーラム 2022、2023
各地区委員会活動費、他	400,000	310,000	90,000	
伊勢原・ホタル水路づくり※	700,000	524,133	175,867	※他に、講師交通費等、農大より直接経費振込みもあり
事例集	23,000	19,558	3,442	「ビオトープづくりの心と技」
2 管理費				
旅費交通費	120,000	138,634	-18,634	管理費各科目に総会関連費用含む
通信費	140,000	130,670	9,330	
会議費	30,000	1,995	28,005	
図書費	10,000	0	10,000	
支払手数料	10,000	8,462	1,538	
地代家賃	696,000	696,000	0	
水道光熱費	60,000	49,962	10,038	
損害保険料	6,000	6,020	-20	火災保険
手数料	63,800	63,800	0	事務所更新費・不動産手数料
給与	3,060,000	3,060,000	0	
法定福利・福利厚生費	520,000	525,762	-5,762	
租税公課	700	500	200	
備消耗品費	50,000	44,734	5,266	
印刷費	50,000	24,386	25,614	
雑費	150,000	154,479	-4,479	自然環境復元学会賛助会費、他
静岡事務所	0	0	0	
3 予備費	91,867		91,867	
経常支出合計	8,266,127	7,800,442	465,685	
経常支出差額	0	642,725	642,725	
III その他資金収入の部				
受取利息	0	13	13	
次期繰越正味財産	0	642,738	642,738	

2023年度 貸借対照表
2024年3月31日決算

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会
単位 円

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	51,694		
普通預金・貯金	708,782		
棚卸資産(書籍在庫)	4,191		
前払費用	99,460		
立替金	8,610		
流動資産合計		872,737	
2 固定資産			
敷金	59,000		
固定資産合計		59,000	
資産合計			931,737
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	94,979		
前受金	100,000		
預り金	94,020		
流動負債合計		288,999	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			288,999
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	402,227		
当期正味財産増加額	240,511		
正味財産		642,738	
正味財産合計			642,738
負債・正味財産合計			931,737

2023年度 財産目録

2024年3月31日決算

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会

単位 円

科 目	摘 要	金 額
資産の部		
現 金	年度末手元残高	51,694
預 金	普通預金:三菱東京 UFJ 銀行本店	435,992
預 金	郵便振替口座	201,156
預 金	普通預金:ゆうちょ銀行	71,305
預 金	普通預金:静岡銀行本店(静岡事務所)	329
小 計		760,476
棚卸資産		4,191
前払費用		99,460
立替金		8,610
敷金		59,000
合 計		931,737
負債の部		
未払費用		94,979
前受金		100,000
預り金		94,020
計		288,999
資本の部		
正味財産		642,738

監 査 書

2023 年度収支決算書(自 2023(令和 5)年 4 月 1 日至 2024(令和 6)年 3 月 31 日)、貸借対照表並びに財産目録を別紙の通り提出しますので、監査をお願い致します。

2024 年 4 月 16 日

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
会長 久郷 慎治

監査した結果、その正確なことを認めます。

2024 年 4 月 16 日

会計監査

佐川 憲一 

大場 淳一 

第4号議案 2024年度事業計画

■主たる活動方針

2023年度は総会と30周年の記念フォーラムを静岡で開催し、これまでの活動を思い起こし、ご指導ご鞭撻を頂きました多くの関係者と、ビオトープ創出活動の重要性を認識されてビオトープづくりに邁進されて来られた全国の会員・ビオトープアドバイザー各位に対しまして、感謝の意を表しました。

近年、地球温暖化が加速され、海流の変化・極圏の凍土や氷雪の融解などから、特に生態系への異常な影響は、われわれ社会活動においても危機感が深まっております。持続可能な将来、自然と人が共生できる世界に向けて、言わば再生可能エネルギー革命の時代を、協会としてどのように取り組み、将来世代へ引き継いでゆくべきか、改めて考える必要があります。

最も求められる自然との共生、生物多様性の推進とそれを維持できる自然環境維持・拡大に向けたビオトープ活動はますます重要性を増してきています。

会員、ビオトープアドバイザーの皆様には、今後も引き続きご協力をいただき、各年代、特に若年層に向けてビオトープを正しく伝えると共に、市民・産業界・行政・研究者・教育者・実務者等多様な人々とのパートナーシップで力強く推進してまいりたいと存じます。

2024年4月 会長 久郷 慎治

本年度は以下の活動を行う予定であります。

引き続き、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

1. 総会の開催

「第22回通常総会」

日時:2024(令和6)年6月14日(金)11:00~11:30 予定

場所:東北大学 青葉山新キャンパス 環境科学研究科 本館2階 大講義室(宮城県仙台市青葉区荒巻青葉 468-1)

2. フォーラムの開催

「ビオトープフォーラム in 仙台 2024」

ー私たちの豊かさは多様な生き物の棲む地球からー

日時:2024(令和6)年6月14日(金)13:00~17:00 予定

場所:東北大学 青葉山新キャンパス 環境科学研究科 本館2階 大講義室

3. 常任委員会の活性化(各委員会詳細は、P.14-15)

◇各種研修会の内容の充実と、ビオトープアドバイザー(BA)認定試験研修会テキスト改訂版作成等の検討。

◇ビオトープアドバイザー(BA)認定試験研修会 (更新研修会も兼ね)

◇ 広島県呉市 2024年9月5・6日開催予定

◇主席BA認定研修会、主席BA更新認定研修会の開催

第2回理事会日程に併せ開催:2024年10月18日(金)予定

2024年度更新対象者8名、うち役員7名 新規受講者の募集・役員へ推薦依頼

◇情報の充実と活用

◇ 機関誌の発刊「ビオトープ」54・55号

◇ WEBサイトの随時更新とWEB・MLによる会員への積極的情報の提供
月1回「ビオトープだより」発行

4. 地区委員会の活性化(各地区詳細は、P.15-16)

◇協会には、ビオトープ事業関連に優秀な技術・ノウハウを有している多くの法人会員と、地域活動に取り組んでおられる個人会員が参加している。これらの会員の技術、アイデア、経験等の力を結集し、ビオトープの理念を共有化して活動を更に推進する。

また、地域それぞれの特性を生かしたビオトープを復元、創出、撫育、活用し、社会に貢献していくために各地区で研修会、フォーラムを計画、実施を推進する。

本年度も地区委員会の事業の更なる活性化を進め、地区の事業計画を立案し事業の理念を共有化していく。

◇上記活動を研修委員長がフォローしていく。

◇各地区活動状況等を地区長に提出いただき、協会誌(30号より継続中)に掲載する。

5. 震災復興に関する支援活動

◇人的・技術的な支援・協力の検討。

◇他団体との連携。

6. CSR推進企業とのコラボレート(協働)、学校支援等を継続

学校・公園・企業ビオトープ等、身近にビオトープを拡大していく。

本年度も、生物多様性に関するセミナーを各地で予定。

◇野村不動産株式会社のCSR「ホテルのすむ街づくり」のイベント実施予定

◇引き続き学校法人小野学園への環境教育支援、全面的なバックアップを行う。

今後関東地区委員が中心となり協会でもフォローしていく。

◇地域の生態系を保全する活動を実践する。

・講師派遣

・ビオトープづくりの技術指導

◇自然環境復元学会への後援・協力

7. 顕彰委員会

第17回ビオトープ顕彰の募集(2024年度)及び審査(2025年4月予定)実施

ビオトープ顕彰の積極的な展開・活用について検討し推進する。

8. 協会発行書籍・冊子の頒布

ビオトープの利活用資料集「ビオトープづくりの心と技」「ビオトープの維持管理改訂版」を使用して勉強会、研修会の開催

9. 会員拡大

会員拡大を各地区の目標とする。

■ 各常任委員会・地区委員会における具体的取組

常任委員会

委員会名	事業内容
総務委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビオトープだよりの発行のアシスト 2. 会員からの相談事項への対応 3. 出前授業の開催 4. 「ビオトープってなあに？」冊子、「ビオトープづくりの心と技」本の活用 5. 顕彰の募集のアシスト 6. 総務委員会の情報交換とビオトープ協会の改善 ◇BA 試験認定研修のアシスト
情報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協会誌の発行 ・「ビオトープ 54 号」2024 年 8 月末発行 ・「ビオトープ 55 号」2025 年 1 月末発行 2. 情報委員会開催 協会誌 56・57 号企画会議 2025 年 2 月開催予定
研修委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ビオトープづくりの心と技」販売促進 2. 認定研修会への協力 ・BA 研修会、更新講習会の実施、日程検討、受けたくなる PR 検討 3. 現地研修会の実施
技術委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. BA のフォローとして、技術情報・メモの作成・発信 技術メモの技術範囲を緑・環境分野まで。年 3 回程度 2. 各種技術指導、各地区フォローアップ 静岡地区の里山継続整備：ポット苗継続生育調査等 3. 対外的提案受注活動
顕彰委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 16 回(2023 年度募集)顕彰委員会 2024 年 4 月 16 日 連合会館 2. 第 17 回ビオトープ顕彰の応募・顕彰規定検討、募集推進

地区委員会

地区名	事業計画内容
北海道・東北地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビオトープフォーラム in 仙台 2024 関連事業準備・運営 ・総会・フォーラム(6/14)東北大学大学院環境科学研究科棟 ・交流会(ビオトープの集い)(6/14) ・エクスカッション(6/15)仙台湾岸新浜海岸エコトーン他 ・ポスター展(6/13~16)東北大学農学部「青葉山コモンズ」 ・連携講座(6/13~16)せんだい環境学習館「たまきさんサロン」 2. 大槌町「ミズアオイの池をみんなで守る会」活動支援 ・湧水エリア発芽促進かく乱作業(4/13) ・エリア内高木植栽追加作業(イオン財団助成) ・ミズアオイ町民観察会と座学・試食会(8 月末) ・釜石根浜地区でのビオトープ創り支援活動

	<ul style="list-style-type: none"> 3. いわき市三和町「ホタル水路再生計画」の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回ほたるのさんぽみち in みわ開催(三和町商工会主催:7月) ・ホタルの生息調査・捕獲・小学校主催ホタル放流会の実施 ・三和小学校児童によるカワニナの繁殖(継続実施) ・ホタル水路・ハナショウブ田の維持管理 4. 尾花沢市「徳良湖」環境調査・清掃活動 5. 大石田町「町民の森」環境調査・清掃活動 6. 会員の拡大
関東地区	<ul style="list-style-type: none"> 1. 自治会・学校ビオトーププロジェクト継続支援実施 <ul style="list-style-type: none"> ・前渡小 学校観察園ほたるの森 ホタル放流・観賞会(ひたちなか市) ・村松小ビオトープ ホタル放流・観賞会(東海村) ・常葉台ビオトープ ホタル観賞会 生物調査 3回(ひたちなか市) ・高野宿ビオトープ ホタル放流・観賞会 生物調査 3回 2. 地域ホタル飼育活動の継続実施 3. 目白が丘幼稚園ビオトープ計画支援(東京都新宿区) 4. 赤羽幼稚園 園庭ビオトープ学習会実施(東京都港区) 5. 関東地区内ビオトープ動向調査 6. Facebook等SNSを使った地区情報発信の継続での情報発信 ※Facebook:「日本ビオトープ協会 関東支部」 7. 他団体との情報連携強化 8. 会員拡充
北陸・信越地区	<ul style="list-style-type: none"> 1. 県内ビオトープ関連団体との交流及情報連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープ管理士会富山県支部との合同研修会 ・富山県ビオトープ協同組合との先進地視察研修 ・射水ビオトープ協会との勉強会 2. 他団体への勉強会の講義を継続して行う 3. 会員の拡大
静岡地区	<ul style="list-style-type: none"> 1. 静岡地区会の開催 2. 麻機遊水地保全活用推進協議会の参加 3. 麻機湿原を保全する会 活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・サクラタデ観察会 10月 予定 ・希少種保全エリア環境整備 3月 予定 4. 中町浄水場里山再生 指導及び協力 5. 学校、福祉、企業ビオトープ維持管理支援 6. 会員の拡大
中部地区	<ul style="list-style-type: none"> 1. 中部ブロック会議の開催 2. 生物多様性ネットワーク協議会への参加 3. 愛知県主催の環境イベントへの参加 4. 企業ビオトープの見学研修会開催予定 5. 協会本『ビオトープづくりの心と技』の販売活動 6. 会員募集 法人・個人会員(法人会員1社 入会予定)
近畿地区	<ul style="list-style-type: none"> 1. 蒲生の湯 小さなビオトープ池調査 第3回 10月 2. 老蘇小学校ビオトープ観察会等 3. 希望ヶ丘文化公園ランドスケープ観察会・調査 (観察会1回) 4. 地球市民の森植物調査(夏、秋の2回) 5. 地球市民の森外来種対策(夏、秋の2回) 6. 琵琶湖岸ヨシ植栽とハマゴウ保全活動への協力(6月・11月) 7. 会員拡大

<p>中・四国地区</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地区委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・BA 試験認定研修会の実行計画の打ち合わせ 2. 古鷹山ビオトープの観察会 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回6月の予定 ・第2回9月の予定 3. BA 試験認定研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・9月5・6日開催予定 4. 顕彰応募のアシスト <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの啓蒙活動 5. 地区内のビオトープの指導 6. 会員拡大
<p>九州地区</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域自治区・学校ビオトープの状況観察会 2. 海岸浸食状況に歯止めをかける取組の確認・調査継続・ウミガメ生態観察・送り出し観察 3. 蛍の里環境清掃活動 4. 出で野山はたる里水路(小林市)維持管理工法勉強会の計画 5. 南九州大学環境学部との意見交換会「知る・学ぶ・触れる」興味を持つ取り組みを図る計画 6. パネル展示の計画 7. 会員拡充の継続呼びかけ

第4号議案 2024年度収支予算

2024年度収支予算書(案)

2024年4月1日から2025年3月31日

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会

単位 円

科 目	2023年度 予算額	2024年度 予算額	増減	備考
I 経常収入の部				
1 会費収入	5,780,000	5,630,000	-150,000	
2 事業収入				
①ビオトープ技術者養成事業	750,000	750,000	0	主席・BA 認定研修会・更新、スキルアップ・提案講座等研修 会受講料
② 事例集	40,000	25,000	-15,000	
3 助成金				
① ホタル水路づくり研修会、フォーラム※1	1,093,900	0	-1,093,900	※1:2023年度農大教育後援会、花博記念協会助成金
② BA 基礎講座テキスト改訂費用、他※2		400,000	400,000	※2:2024年度古鷹山フォローアップ委員会より
4 寄付金	200,000	100,000	-100,000	
5 前期繰越金	402,227	645,534	243,307	
経常収入合計	8,266,127	7,550,534	-715,593	
II 支出の部				
1 事業費				
① ビオトープ技術者養成事業	500,000	600,000	-100,000	会場費、講師料、資料、認定カード代等
② ビオトープ啓蒙事業				
資料作成(協会誌、パンフ等)	500,000	500,000	0	
WEB サイト	34,760	34,760	0	サーバー利用料、メールリスト用サーバー利用料
常設委員会	200,000	150,000	50,000	総務・情報・研修・技術、他
特別委員会・その他委員会	200,000	150,000	50,000	顕彰、他
シンポジウム・セミナー	650,000	350,000	300,000	ビオトープフォーラム
各地区委員会活動費、他	400,000	330,000	70,000	
伊勢原・ホタル水路づくり	700,000	0	700,000	
BA 基礎講座テキスト改訂、他		400,000	-400,000	
事例集	23,000	4,191	18,809	ビオトープづくりの心と技
2 管理費				
旅費交通費	120,000	200,000	-80,000	管理費各科目に総会関連費用含む
通信費	140,000	140,000	0	
会議費	30,000	10,000	20,000	
図書費	10,000	10,000	0	
支払手数料	10,000	10,000	0	
地代家賃	696,000	696,000	0	
水道光熱費	60,000	60,000	0	
損害保険料	6,000	6,000	0	火災保険
手数料	63,800	0	63,800	事務所更新費・不動産手数料
給与	3,060,000	3,130,000	-70,000	
法定福利・福利厚生費	520,000	550,000	-30,000	
租税公課	700	700	0	
備消耗品費	50,000	20,000	30,000	
印刷費	50,000	30,000	20,000	
雑費	150,000	120,000	30,000	自然環境復元学会賛助会費、他
静岡事務所	0	0	0	
3 予備費	91,867	48,883	42,984	
経常支出合計	8,266,127	7,550,534	715,593	
経常支出差額	0	0	0	
III その他資金収入の部				
受取利息	0	0	0	
次期繰越正味財産	0	0	0	

※各科目への流用を認める

<https://www.biotope.gr.jp>